

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

■ マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、国内の政治情勢に目立った変化は見られないものの、米利上げ観測の後退も手伝って、レアル売りポジションの巻き戻しが急速に進行している。取引開始直後こそ3.90台後半を付けたものの、引けにかけては一貫してレアル買いが優勢となり、3.78台半ばで取引を終えた。昨日公表されたFOMC議事録(9月16-17日開催分)において、ドル高によるインフレと輸出の抑制について議論されたことが明らかになったことも、マーケットのドル売りレアル買いを誘発した側面もある。議事録では、当局が9月利上げを見送った背景として、主に中国発の経済成長とインフレ見通しに対するリスクの高まりを挙げたことが確認された。また、「前回の会合以降に見られた経済動向によって委員会の景気見通しが大幅に変更されることはなかった」との見解で一致した模様。ただ、「委員会は景気見通しが悪化していないことを裏付ける追加情報を待つのが賢明であると判断した」と記述された。

7日、ブラジル連邦会計検査院(TCU)が、ルセフ政権の2014年政府会計を承認しないとの判断を示したにも関わらず(今回の判断は、議会の反ルセフ勢力に大統領弾劾を要求する口実を与えると見られている)、レアルが一転して上昇する動きを見せている他、ボベスパ指数も前日比0.4%高と続伸。ここまでブラジル資産売りが急速なペースで進んできたこともあり、足許では調整色の強い動きとなっている。

■ マーケットデータ

| Indicator | | Unit | 10月7日 | 10月8日 | 前日比 | 9月8日 | 1ヶ月前比 |
|--------------------------------|-------|------|--------|--------|---------|--------|---------|
| レアル | 対ドル | BRL | 3,8862 | 3,7853 | -0,1009 | 3,8208 | -0,0355 |
| | 対円 | JPY | 30,88 | 31,69 | +0,81 | 31,36 | +0,33 |
| | 対ユーロ | BRL | 4,3672 | 4,2689 | -0,0983 | 4,2808 | -0,0119 |
| 円 | 対ドル | JPY | 120,01 | 119,93 | -0,0800 | 119,81 | +0,1200 |
| | 対ユーロ | JPY | 134,86 | 135,24 | +0,38 | 134,22 | +1,02 |
| Bovespa (ブラジル株価指数) | Index | | 48.914 | 49.107 | +193 | 46.762 | +2.345 |
| CDS Brazil 5yrs (クレジット・フルストップ) | bps | | 429,5 | 416,3 | -13,2 | 374,8 | +41,5 |
| Brazil 10yrs Gov. Bond | % | | 15,56 | 15,37 | -0,19 | 14,98 | +0,39 |
| DI Future Jan17 (金利先物) | % | | 15,48 | 15,23 | -0,25 | 14,86 | +0,37 |
| 3 Months US Dollar Libor | % | | 0,319 | 0,319 | +0,000 | 0,332 | -0,013 |
| CRB Index (国際商品指数) | Index | | 199,6 | 201,3 | +1,7 | 198,4 | +2,9 |

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

